

# 集まろう！佐賀んもん

関西で頑張る貴方を応援します

令和4年(2022年)10月31日発行

発行 関西佐賀県人会事務局  
530-0001 大阪市北区梅田  
1-3-1-900  
大阪駅前第一ビル9F  
佐賀県関西・中京事務所内  
TEL 06-6136-7850



## CONTENTS

メッセージ：八田会長/松木副会長/中村副会長	2	武雄高校（武陵会）活動報告	13
令和3年度事業結果報告・収支決算書	4	ふるさとニュース「伊万里頑張ろう政策アドバイザー会議」	14
2022年定期役員会開催報告	7	「わが市ふるさと自慢」佐賀市・唐津市・多久市・鳥栖市・小城市	15
2022年同郷・同窓会の交流会開催	8	寄稿：『海に火輪を一岩倉使節団 山口尚芳をしておりますか』	18
佐賀県関西・中京事務所の皆様を紹介します	9	寄稿：肥前の炭鉱王『高取伊好』	19
「関西でも大好評の佐賀県物産」	11	スポーツ振興「第104回全国高校野球選手権大会」	22
協力金ありがとうございました	12	編集後記	23

## 佐賀んもんは、前代未聞の変化点をのりきるDNAを持ち合わせている！



関西佐賀県人会  
会長  
八田信男  
(佐賀市出身)

コロナ感染症が終息に向かいつつあるとは言うものの、関西佐賀県人会の会員の皆様におかれましては、未だご不自由の多い日々をお過ごしのこと、心よりお見舞い申し上げます。

また、日頃より当県人会の運営にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、昨年2021年度関西佐賀県人会創立70周年の記念総会をコロナ禍による影響で見送り、更には今年度2022年10月9日に予定していた総会も、オミクロンの蔓延により正副会長会議の判断により延期するに至りました。

我々を取り囲む世界環境はパンデミック問題のみならず、世界的な気候変動、欧州やアジアにおける不穏な動き、更にはインフレによる高金利政策、そして大幅円安の持続など、大きな変換点に差し掛かっています。

### 総会延期のお知らせ

#### 『関西佐賀県人会第71回総会延期のお知らせ』

10月9日に予定していました総会はコロナ禍の中様子を見ておりましたが誠に残念ではありますが来年2月に延期することとなりました。

関係者の皆様にはたいへんご迷惑をお掛けいたしますが、宜しく申し上げます。

総会実施日：2023年2月11日(土)

場所：ホテル阪急インターナショナル

大阪市北区茶屋町19-19

県人会事務局長 中島

このような状況下、我々佐賀んもんは、明治維新をはじめとして前代未聞の変化点をのりきるDNAを持ち合わせている様に感じています。さて、来年2023年2月11日(土)に大阪梅田のホテル阪急インターナショナルで関西佐賀県人会総会が開催される事になりましたが、その際には是非、皆様と情報交換が出来ればと思っております。また、長い間ご無沙汰だった会員の皆様におかれましては、「元気にしとったネ」と旧交を温めて頂ければ幸いです。

## 「日本の人口減少を憂う」



関西佐賀県人会  
副会長  
松木義昭  
(神埼市出身)

日本の少子化と人口減少が加速しています。昨年産まれた日本人の子供は81万人1千人。これから死亡数を引き算した「自然増減数」はマイナス約62万8千人で、過去最大の減少になっています。

なぜ日本の人口が減っているのか。結婚しない人が増えたことも1つの原因ですし、結婚しても昔ほど多くの子供を持たなくなっているのも原因として考えられます。それで少子化でどんなことが起きるのかというと、経済が成長しにくくなり、年金や医療、介護のような日々の暮らしに必要な仕組みがゆらいでしまいます。勿論、国も30年ほど前から少子化は問題だと考えて、保育所の数を増やしたりしてきました。しかし、30年以上経ったけど状況は良くなっていません。少子化は止まらず、むしろ国が政策作りなどで用いる見通しよりも早いペースで子どもが減っています。結婚や出産は個人が選択するものですが、状況を改善するためにはどうすれば良いのか。やはり子どもが欲しいと望んでいても何らかの理由で阻まれていたり人々への支援を充実させるのか、金銭的に結婚や出産に不安を持った人たちの状況を改善する政策を実現するとか、具体的に若い世代に多い非正規で収入を増やす必要があると思います。

同時に男は仕事、女は家事という性別役割分担も変えなければなりません。作年の日本の男女平等は世界156カ国中120位(2021年世界経済フォーラム調査)で、先進国の中では最低、アジアの中でも韓国や中国、ASEAN諸国よりも低かったのです。もういい加減に建前を超えて北欧のアイスランドのような男女平等を実現しなければなりません。人口約36万人のアイスランドでは、男女平等の実現が経済成長の原動力となっています。アイスランドでは、2009年に初の女性首相が誕生し、企業などに女性役員の比率を4割以上にするように求め、賃金に性別で差が出ることを禁止する法律を制定し、違反があれば罰金を科しています。そして2011年以降、新型コロナウイルス感染症拡大までの実質経済成長率は、平均3.5%も上がっています。男女平等の度合いのランキングでは、アイスランドは12年連続で世界のトップの地位を維持しています。先般日本を訪れたカトリン首相は「男女平等を実現すれば実際に社会が良くなるというのは、正しいことを行った結果です」と言っていました。うらやましいですね。日本も早くアイスランドのような国になることを願っています。

## つなぐ心でワンチーム



関西佐賀県人会  
副会長  
中村 重人  
(武雄市出身)

昨年(2021年)、創立70周年を迎えた関西佐賀県人会は当初、佐賀県事務所が県人会事務局としてお世話して頂いていましたが、2015年(平成27)県事務所から県人会に引き継がれ、同年12月、事業運営委員会と交流運営委員会が発足しました。言わば、官から民への自立でした。その後、運営組織を強化するため5つの部会に編成され今日の原型ができました。こうした新しい体制のもと、直近ではコロナ禍前の令和元年度「第68回総会・ふるさと交流会」が開催され大盛会裏に終えました。令和2年1月頃よりのコロナ禍の下、総会は2年続けての中止となり、3年ぶりの総会の開催も延期になりました。また、世代交代等に伴う役員の新旧交代も近年の出来事として変革の要素の一つです。今、私たちは正副会長会議が執行機関となり5つの部会がそれぞれの役割分担を担うという体制のもと、強い一体感の重要性を認識する時にあります。

幸か不幸か、総会の再延期という事態により、若干の時間的猶予が生まれています。人と人との強い結びつきによる一体化のもと、3年ぶりの「総会・ふるさと交流会」を成功させねばなりません。

こうした状況のもと私たちは「つなぐ心でワンチーム」の精神で一体性、継続性、発展性に取り組まなければなりません、先ずは、情報の共有をすることによって認識を一体化したいと思います。誰が今、なにをすべきかお互いに確認し次に進む。その繰り返し、積み重ねにより一体感を持つて前進、発展につながるのではないのでしょうか。次に、継続していくためには、今後とも役員会員の更なる充実と重要なことは何といても若い世代の更なる参加が不可欠です。そのために私達役員は知恵を絞り、興味を持っていただいて、覗いてみようかなと思える魅力を感じる「集まろう佐賀んもん」を創って行きたいと思えます。皆様方のご理解と御支援をよろしくお願い致します。

※5つの部会とは  
事業部会  
会員増強部会  
総務部会  
財務部会  
広報部会

# 令和3年度 事業実施結果報告書

No.1

No	各 事 業	開催日	出席者	開 催 会 場	備 考
1	役員会				
	・定期役員会開催	03.04.17	一名	新型コロナウイルス蔓延のため「書面会議」	
	・臨時役員会開催	03.12.11	29名	大阪ガーデンパレス	
2	総会				
	・「創立70周年記念の集い」開催	03.10.31	一名	「新型コロナウイルス」蔓延のため中止	阪急インターナショナルホテル
3	他地区県人会との交流				
	①京都佐賀県人会・総会	03.05.24	-	「新型コロナウイルス」蔓延のため中止。	
	②兵庫佐賀県人会・新年の集い	04.01.30	名	ホテル「北野プラザ六甲荘」	
	③京都佐賀県人会・新年会	04.01.09	名	京都市「旅館・こうろ」 ～恒例の「新年会と女子駅伝選手と関係者への慰労会」を開催	
	④中京佐賀県人会	03.06.21	-	「新型コロナウイルス」蔓延のため中止。	
	⑤同窓・同郷会代表者交流会	04.02.20	名	大阪ガーデンパレス	8/29開催を順延
	⑥同窓会・同郷会との交流				
	・関西むつごろう会	03.07.11	-	「新型コロナウイルス」蔓延のため中止。	
	・関西龍谷振風会	03.09.26	-	同	
	・関西唐津会	03.10.10	-	同	
	・伊万里商高同窓会・関西橘岡会	03.10.17	-	同	
	・伊万里高・富士同窓会関西支部	03.10.24	-	同	
	・関西ふるさと吉田会	03.11.07	-	同	
	・佐賀工高同窓会関西支部	03.11.14	-	同	
	・関西伊萬里んもん会	04.02.20	-	同	
	4	各種スポーツ大会への応援			
①第102回全国高等学校野球選手権大会 ～東明館高校初出場		03.08.10		日本航空(山梨県代表)と対戦 0:4で敗退 8/8 県高野連・吉富壽泰理事長来所、八田会長より激励金贈呈	
②全国高等学校駅伝競走大会 第72回～男子:鳥栖工高出場 第33回～女子:白石高校出場		03.12.26		京都・西京極陸上競技場 12年連続46回目の出場 昨年に続き9回目の出場	無観客で実施
③第101回全国高等学校ラグビー大会 ～佐賀工高出場		03.12.30		大阪・花園ラグビー場 40年連続50回目の出場	
④第40回都道府県対抗女子駅伝大会 ～佐賀県選抜選手		04.01.16		京都・西京極陸上競技場	無観客で実施
⑤第93回選抜高校野球大会 山口県代表は4回		04.03.		甲子園球場	
5	ふるさと佐賀県との交流	03.11.25～26		八田会長・松尾専務・中島事務局長	
				佐賀県庁ほか各企業を訪問(18ヶ所)	
				佐賀県庁・県議会事務局・佐賀市役所・(株)マベック・(株)戸上電機製作所・(株)サガテレビ・(株)ミヅタ・松尾建設(株)・ (株)佐賀玉屋・(株)佐賀新聞社・社会福祉法人晴寿会・有さかもと商店・(株)大洋建設・佐賀県農業協同組合・(株)佐電工・ 岩尾磁器工業(株)・真右エ門窯・(株)香蘭社	

No	各 事 業	開催日	出席者	開 催 会 場	備 考
6	正副会長会議				
	第30回正副会長会議	03.04.10	8名	佐賀県関西・中京事務所会議室	
	第31回正副会長会議	03.07.03	8名	〃	
	第32回正副会長会議	03.09.25	6名	ホテルグランヴィア大阪	感謝状贈呈式開催
	第33回正副会長会議	03.11.06	10名	佐賀県関西・中京事務所会議室	
	第34回正副会長会議	04.02.05	名	〃	
7	正副部会長会議				
	第6回会議	03.08.21	20名	佐賀県関西・中京事務所会議室	10/31開催を断念・決議
	第7回会議	04.03.05	名	〃	
8	事業部会				
	第5回事業部会開催	03.08	-	佐賀県関西・中京事務所会議室	コロナ禍で中止
	第6回事業部会開催	03.10.	-	〃	コロナ禍で中止
	第7回事業部会開催	03.10.30	-	ホテル阪急インターナショナル	コロナ禍で中止
9	会員増強部会				
	第5回増強部会開催	03.08.	-	佐賀県関西・中京事務所会議室	コロナ禍で中止
	第6回増強部会開催	03.10.30	-	ホテル阪急インターナショナル	コロナ禍で中止
10	総務部会				
	第4回総務部会	03.09.	-	佐賀県関西・中京事務所会議室	コロナ禍で中止
	第5回総務部会	03.10.30	-	ホテル阪急インターナショナル	コロナ禍で中止
11	財務部会				
	第4回財務部会	03.04.08	2名	佐賀県関西・中京事務所会議室	令和2年度会計監査
	第5回財務部会	03.10.16	2名	〃	上半期の会計監査
	第6回財務部会	03.10.30	-	ホテル阪急インターナショナル	コロナ禍で中止
12	広報部会・記念誌編集会議				
	第5回編集会議	03.06.05	2名	高槻市・TMC社	
	会報・特集ページ取材活動	03.06.25	2名	社労士法人中村事務所取材	
	会報・特集ページ取材活動	03.06.26	3名	尼崎市・田中實氏取材	
	会報・特集ページ取材活動	03.06.27	3名	宇治市・大井手常時氏取材	
	会報・特集ページ取材活動	03.07.02	3名	宝塚市・奥川静治氏取材	
	会報・特集ページ取材活動	03.07.04	2名	大阪狭山市・山崎和子氏取材	
	会報・特集ページ取材活動	03.07.07	1名	神戸市・林田美枝子氏取材	
	70周年記念誌・取材	03.07.07	1名	芦屋市・下村進一氏宅	
	70周年記念誌・取材	03.07.09	1名	大阪市役所、大阪検察庁	
	70周年記念誌・編集	03.07.16	3名	佐賀県関西・中京事務所会議室	
	70周年記念誌・校正	03.08.12	2名	高槻市・TMC社	
70周年記念誌・校正	03.09.11	3名	佐賀県関西・中京事務所会議室		
13	九州他県人会との交流				
	①関西鹿児島人会 ②関西福岡県人会 ③近畿宮崎県人会 ④関西熊本県人会				コロナ禍で中止
14	70周年記念誌『関西の地で支え合った70年』編纂・発行				1,150部制作（A4版フルカラー・160頁）
	9/7会員並びに関係先に発送／佐賀新聞社・10日朝刊に記事掲載される／佐賀県立図書館、10市10町の図書館に寄贈・収入（広告協賛金）92件 1,575,000円、支出費用：1,510,103円 余剰金：64,897円、				
15	機関誌「集ろう！佐賀んもん」会報発行				第12号：協力金：220名 446,500円
	①会報第13号発行	03.09.01	1,500部		第13号：協力金：237名 562100円
					広告協賛金：27社（2回分） 1,105,000円
	②会報第14号発行	04.03.31	1,500部		令和3年度 合計 2,113,600円

令和3年度 事業収支決算書

令和4年3月31日

自令和3年4月1日～至令和4年3月31日

責任者 松尾 正隆 印

科 目	全体会計		増減額	特別会計		増減額
	令和3年度	令和3年度		令和3年度	令和3年度	
	予 算	実 績		予 算	実 績	
事業活動・収入の部						
1 前期繰越金	1,628,001	1,628,001	0	-	-	-
2 役員年会費(63名→60名)	1,600,000	1,590,000	10,000	-	-	-
3 会報広告協賛金(25社→27社)	1,000,000	1,105,000	-105,000	-	-	-
4 会報・ご協力金(430名→382名)	900,000	854,100	45,900	-	-	-
5 70周年記念誌・役員広告協賛金(2名)	-	20,000	-20,000	-	-	-
6 70周年記念誌・企業広告協賛金(15社→19社)	500,000	705,000	-205,000	-	-	-
7 70周年記念誌・同窓、同郷会広告協賛金(1団体)	-	20,000	-20,000	-	-	-
8 寄付金(30名→1名)	300,000	30,000	270,000	300,000	0	300,000
9 臨時役員会・懇親会参加費(26名)	100,000	130,000	-30,000	-	-	-
10 創立70周年記念の集い・参加費(会員:250名、役員:60名)	3,100,000	0	3,100,000	3,100,000	0	3,100,000
11 創立70周年記念の集い・参加費(同伴者:30名)	150,000	0	150,000	150,000	0	150,000
12 若者・30歳未満特別招待(20名×3,000円)	60,000	0	60,000	60,000	0	60,000
13 若者・学生特別招待(10名×1,000円)	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000
14 同窓・同郷会代表者交流会参加費	150,000	0	150,000	-	-	-
15 本部より助成金	-	0	0	440,000	0	440,000
16 受取利息	15	29	-14	-	-	-
17 創立70周年記念事業積立金取崩し	1,500,000	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000
事業活動収入合計	10,998,016	7,582,130	3,415,886	5,560,000	0	5,560,000

事業活動・支出の部						
1 事務所費	40,000	37,599	2,401	-	-	-
2 事務運営費	1,500,000	905,000	595,000	300,000	0	300,000
3 旅費交通費	100,000	229,057	-129,057	-	-	-
4 会議費	300,000	105,641	194,359	-	-	-
5 通信費(70周年記念誌送料:300,000)	800,000	296,345	503,655	-	-	-
6 消耗品費	15,000	36,386	-21,386	-	-	-
7 印刷費(70周年記念誌:800,000)	1,100,000	1,234,186	-134,186	-	-	-
8 諸会費	50,000	0	50,000	-	-	-
9 会場費(大阪ガーデンパレス)	4,000,000	165,600	3,834,400	4,000,000	0	4,000,000
10 謝礼金(70周年記念誌制作)	100,000	300,000	-200,000	100,000	0	100,000
11 振込手数料	280,000	94,605	185,395	150,000	0	150,000
12 お土産代	120,000	0	120,000	120,000	0	120,000
13 雑費	150,000	121,827	28,173	100,000	0	100,000
14 70周年記念品ほか(感謝状授与者:17名)	290,000	170,000	120,000	290,000	0	290,000
15 米寿お祝い他記念品代	500,000	0	500,000	500,000	0	500,000
16 スポーツ振興激励金支払	180,000	180,000	0	-	-	-
17 佐賀県内水害義援金支払	0	100,000	-100,000	-	-	-
18 次期繰越金	1,473,016	3,605,884	-2,132,868	-	-	-
事業活動支出合計	10,998,016	7,582,130	3,415,886	5,560,000	0	5,560,000

○監査報告

会計監査日 令和4年4月9日(土)

会計監査において、現金出納帳・銀行帳並びに関係諸票を照合の結果、適正に会計処理がなされていると認められます。

令和4年4月9日

監査役 相良 広 基 印

監査役 黒木 賢 一 郎 印

## 関西佐賀県人会定期役員会開催

6月19日(日)「中之島ダイビル3階にある四川料理イーフォー」において、令和4年度の定期役員会が開催されました。前年度は「新型コロナウイルス」感染拡大のため中止してしました懇親会も開催し盛大に行われました。全員マスク着用の上、会場受付では体温の確認と手指消毒を行う等、万全の対応をしての開催となりました。

会の冒頭に八田会長は開会の挨拶で、この困難な状況の中を参加頂いた役員各位に感謝の気持ちを述べられて、皆さんの当会への今後のご協力・ご支援をお願いしたいと呼び掛けられました。議題に入り、事務局より役員人事について、新規役員就任(幹事・村山毅様・佐賀県関西・中京事務所)(幹事・宮城孝弘様・鳥栖市)の紹介に続き、令和3年度の事業決算報告並びに会計収支報告と監査報告がなされました。続きまして今回の主題である「第71回関西佐賀県人会総会に向けて、担当の各部長から計画と意気込みを発表していただきました。

広報部会からは、会報誌と一緒にホームページのアンケートを送付して回答を頂いた分の集計結果を発表して頂きました。冒頭にも述べました通り、久々の懇親会は大変盛り上がり、盛況の中散会となりました。

記：事務局 中島



おいしさの頂上  
**Glico**

**CRATZ** カリッと濃い旨み

＜クラッツ＞

(マフィンペーコ) (枝豆) (濃厚コンノメ)

**佐賀新聞 電子版**

お申し込みはWebから 佐賀新聞 検索

本 社 / 佐賀県佐賀市天神 3-2-23  
☎ 0952(28)2111 FAX:0952(29)7656

大阪支社 / 北区堂島 1-1-5 関電不動産梅田新道ビル12F  
☎ 06(6347)4618 FAX:06(6347)4620

**佐賀新聞社**

社会を、地球を、未来を豊かに。

**Togami**

株式会社 戸上電機製作所

代表取締役社長 戸上 信一

本 社  
〒840-0802 佐賀県佐賀市大財北町1-1  
TEL(0952)24-4111 FAX(0952)26-4594

関西オフィス  
〒564-0053  
大阪府吹田市江の木町12-5  
(大阪戸上ビル)  
TEL(06)6386-8961  
FAX(06)6338-1375

<https://www.togami-elec.co.jp/>

Let's **ポンプdeエコ**

**TORISHIMA**

ポンプもエコで選ばれる時代です。徹底的に省エネを追求したトリシマのポンプは、各種プラントの消費電力とCO<sub>2</sub>の削減に大きく貢献しています。

株式会社 西島製作所 本社(大阪府高槻市) 佐賀支店(佐賀市)

株式会社 九州トリシマ (武雄市)

人の気持ちと企業の声に応えます。

弁護士法人

**近畿中央法律事務所**

代表社員弁護士 岡 豪 敏

541-0053 大阪府中央区本町1-7-7  
WAKITA 堺筋本町ビル4F  
TEL(06)6229-0707/FAX(06)6229-8844

時代が求める「機能配管」をトータルプロデュース。

**TAK**

**蛸多久製作所** 私たちは、配管総合プレファブメーカーとして環境と産業の未来に貢献しています。

本 社 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町2丁目5番7号 TEL:06(6260)7080

九州工場 〒846-0012 佐賀県多久市栗多久町大字別所1539 TEL:0952(76)3513

<http://www.tak-ss.co.jp/>

## 「同窓会・同郷会代表者交流会」を開催



「同窓会・同郷会代表者交流会」を開催  
 7月9日(日曜日)心斎橋の大成閣において、2022年度「同郷会・同窓会」の交流会が開催されました。関西佐賀県人会と交流のある地方同郷会と高校同窓会関係の代表者が、年に1回一同に会し、県人会からは当年度における活動状況報告並びに今後の事業予定報告を初め、各会代表者による近況報告やトピックスの報告などの意見交換を行い、県人会と同郷会・同窓会の互いの発展を目指そうという相互に遠慮のない交流の場となっています。

7月9日(日曜日)心斎橋の大成閣において、2022年度「同郷会・同窓会」の交流会が開催されました。関西佐賀県人会と交流のある地方同郷会と高校同窓会関係の代表者が、年に1回一同に会し、県人会からは当年度における活動状況報告並びに今後の事業予定報告を初め、各会代表者による近況報告やトピックスの報告などの意見交換を行い、県人会と同郷会・同窓会の互いの発展を目指そうという相互に遠慮のない交流の場となっています。



今回は特別にコロナ禍

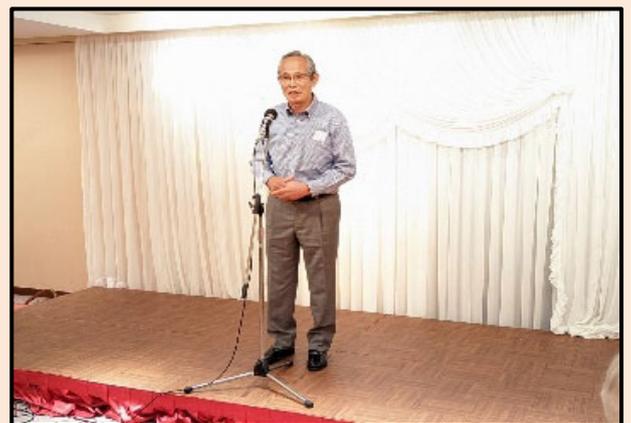
で県人会総会・交流会もこの時は、10月9日に延期開催となったこともあり、如何に多くの会員の皆さんに参加して頂くか、又、今回の総会では昨年の「関西佐賀県人会 創設70周年記念大会」という大きな節目という観点からも、同郷・同窓会との協力による参加者増員が重要との見解を確認しました。

質疑応答では、「今回はコロナ禍の影響もあり、初めての10月開催となるが、来年以降は従来の6月〜7月開催に戻るのか？」

7月9日(日曜日)心斎橋の大成閣において、2022年度「同郷会・同窓会」の交流会が開催されました。関西佐賀県人会と交流のある地方同郷会と高校同窓会関係の代表者が、年に1回一同に会し、県人会からは当年度における活動状況報告並びに今後の事業予定報告を初め、各会代表者による近況報告やトピックスの報告などの意見交換を行い、県人会と同郷会・同窓会の互いの発展を目指そうという相互に遠慮のない交流の場となっています。



記：広報部会 於保



# 佐賀県の特産品フェア！！

## 市場拡大キャンペーンを展開中



### 佐賀県産の特産品は関西でも大好評！

2020年以降、コロナ禍の影響で全国的に経済活動へのダメージが大きい中、佐賀県では関西圏、関東圏への市場拡大キャンペーンを展開中です。今回は、今年の上半期に私が覗いて見たフェアの中から何件かをご紹介しますと思います。大阪でのフェアでは、佐賀県 関西・中京事務所のスタッフの皆さんが大活躍。訪れたお客さんに、特産品に佐賀県の魅力を乗せたPR活動に汗をかいておられました。

私にとっての佐賀県の特産品といえば、「小城羊羹」「松露饅頭」「丸ぼうろ」「呼子のイカ」「うれしの茶」「ゆずこししょう」「佐賀のり」等々が頭に浮かびますが、皆さんは如何でしょうか？まだまだ、挙げればきりがありません。

そんな中でも最近特に売り出し中なのが「いちごさん」佐賀県ではハウス栽培が盛んで、甘味と酸味の絶妙なバランスが魅力の逸品です。そして、ハウス栽培と云えば「ハウスみかん」は生産量全国1位。そこに、新人がデビューしました。「にじゅうまる」というネーミングの如く、少し大き目のみかんでして、濃厚な甘みの後にサイダーを飲んだような爽やかな酸味が口の中を潤してくれる新商品です。皆さんのお近くの百貨店やスーパーでも店頭に並ぶと思いますので是非ご賞味ください。

今後も関西で開催される「佐賀県フェア」を関西・中京事務所を通じてご案内したく思いますので足を運んで頂けると幸いです。

記：広報部会・於保



# 佐賀県関西・中京事務所の皆さんを紹介します

■所長 **吉原修** 白石町（旧有明町）出身



八田会長をはじめ関西佐賀県人会の皆様には、平素より佐賀県の発展のため、佐賀県政並びに県事務所の活動に対し多大なる御支援、御協力を賜り、心より感謝申し上げます。2度目の大阪赴任も、新型コロナウイルス感染拡大とともに早3年、通算6年目に入りました。県人会役員の方からは気軽に声をけいいただき親睦を深めたり、宿舎がある高槻市の仲間からテニスに誘われたりと、毎日楽しく過ごしております。関西は、観光、文化、食などたくさんの方の魅力を溢れとても快適な所で、中でも食事の味付けは故郷を感じさせるものがあります。また、日々の生活では人との出会いや様々な経験が活力にエネルギーになっています。今後3年ぶりに県人会総会が開催されるなど皆様とお会いする機会があると思います。何卒よろしくお願いたします。

■副所長 **大串宏之** 佐賀市出身



前職の上司から、「大串君、大阪どう？」「はい、行きます！」で始まった私の大阪生活も早や3年目を迎えました。ただ、大阪は大都会ならではの「よそよそしさ」を感じる反面、一度話すとにこやかにユーモアたっぷりに相手してくれる人情味あふれるところが大好きです。休みの日には、奈良・京都を中心にウォーキングに明け暮れています。さすが関西は歴史の宝庫ですね！これからも大阪生活をエンジョイしていきます。今日の仕事も終わり、さあ、今夜も「安い、旨い、早い」のお店で一杯いくか！（笑）

■課長 **村山毅** 福岡県出身



4月に配属になりました。生まれは鹿児島、出身は福岡の九州男児、小さい頃から佐賀にはよく遊びに来ていて、佐賀ライフに憧れていました。現在は、佐賀市高木瀬東に家建て、家族も暮らしています。前職の民間企業時代は、大阪、和歌山に住んでいたこともあり、関西はすごく親しみがあるところでした。これからも県人会の皆様と一緒に頑張って、この関西の地で佐賀県を盛り上げていこうと思っていますので、よろしくお願いたします。

■主事 **東美紗都** 伊万里市出身



昨年10月に配属となり、観光や情報発信を担当してあつという間に1年が経ちました。生まれも育ちも佐賀県で、県外から見た佐賀の魅力とは何なのか、関西の方に佐賀を好きになっていただくにはどうしたらいいか、日々手探りの毎日です。情報をより充実させるため、県人会の皆さまにもご意見をいただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

■企業誘致専門員 参与 **川村清司**



今年の4月から勤務しております。生まれは神戸で育ちは大阪という根っからの関西人です。民間企業で定年を迎えましたが、まだ若い？ため初心に戻り働いています。仕事は企業誘致です。今までの経験とは大きく違う世界ですが、1社でも多くの企業に佐賀県の魅力を伝え、素晴らしい企業に出会い結果として進出いただければ最高です。宜しくお願いたします。

■企業誘致専門員 参与 **山根滋利**



企業誘致を担当して6年目、佐賀と佐賀人の素晴らしさを多くの企業に日々アピールしています。担当以来今までに8社の企業に進出頂きました。出身は鳥取県ですが、直正公の母上は鳥取藩主の娘、山口知事も鳥取県庁での勤務経験があると知り両県の不思議なご縁を勝手に感じています。趣味はテニスとカヌー、どちらをやるにも佐賀にはいい所が多くて羨ましいです。

■センター長 宮地 靖  
(一社)佐賀県観光連盟 関西・中京誘客センター



大阪府出身、名古屋、中部地区にて30数年旅行会社で勤め、愛知県内の市の観光協会でも勤務していました。様々な角度から観光を見て、送客してきた見地を生かし、佐賀県への来客増に繋がりたいと考えています。佐賀・長崎ゲストイネーションキャンペーンも12月まで実施されています。皆様も是非佐賀へお出かけください。

■藤井 美津子

職務内容は、庶務・経理事務作業及び来訪者や電話問い合わせ対応など、令和2年5月から勤務3年目になります。佐賀の魅力を習得し、関西・中京圏の皆様にお伝え、誘客に向けファンを増やしていきたいと思っています。10月から始まっている佐賀・長崎ゲストイネーションキャンペーンを盛り上げていきます！どうぞよろしくお願いたします。

【イベント情報】

●子どもお店バトル

- ・と き：2022年11月12日(土)9時30分～12時 ※売り切れ次第終了
- ・と ころ：生野本通中央商店街(大阪市生野区)
- ・内 容：地元高校・中学生が佐賀県特産品をPR販売

●ふるさとの観光と名産品まつり(計画中)

- ・と き：2022年12月頃
- ・と ころ：大阪駅前第1ビル
- ・内 容：佐賀県特産品販売(販売品目は検討中)

●CAS呼子イカ初販売

- ・と き：2022年12月～年末頃(予定)
- ・と ころ：高島屋堺店、高島屋泉北店、ジェイアール京都伊勢丹(予定)

●九州・沖縄観光物産展

- ・と き：2023年1月21日(土)～22日(日)10時～17時(予定)
- ・と ころ：セブンパーク天美(松原市)
- ・内 容：佐賀県特産品販売、観光PR、ゆるキャラステージ

●佐賀さいこう!フェア(予定)

- ・と き：2023年2月～3月
- ・と ころ：大阪・京都各百貨店
- ・内 容：いちごさん、にじゅうまる等佐賀県特産品販売
- ・と き：2023年3月17日(金)11時～18時
- ・と ころ：ディーズスクエア(大阪市地下街)
- ・内 容：いちごさん、にじゅうまる等佐賀県特産品販売



## 里山にタクシーを走らせたい

「法人きばる塾」は佐賀県脊振山の麓に広がる神崎市城原(じょうばる)地区で、高齢者の移動の解決などに取り組んでいる団体です。

私たちの活動をふるさと納税で応援してくださる方を募集しています。

ふるさと納税からの寄付金はまず、高齢者の多い当地域に乗合タクシーを走らせる助成金に活用させていただきます。

ふるさと納税は右の二次元バーコードからお申込みいただけます。



お問い合わせ 〒842-0122 佐賀県神崎市神崎町城原2718-2

一般社団法人きばる塾 Email kibaru-jyuku@sage.ocn.ne.jp

会報誌 14号に対して、多くの会員の皆様から心暖かい「ご協力金」を頂きました。



誠にありがとうございました。

ここに、ご芳名を記載しお礼とさせていただきます。

今後の県人会事業運営に有効活用させていただきます。(事務局)



(注)五十音順に掲載しております。<敬称略> 2022年9月30日現在

(や)	(ま)	生部初男	田中 隆	五町田酒造	小川勉生	(あ)
八木悠久夫	前田和義	南里節子	田中矩子	小西一俊	奥 勝利	相浦裕子
八頭司幸光	前田庄介	(に)	田中靖彦	小林俊昭	奥シゲ子	青木日出夫
山内冬子	増田浩堂	西本八千代	團 和弘	小林秀昭	奥谷美枝子	青木兵庫
山口利幸	松井洋子	仁田邦男	(つ)	(さ)	於保博幸	阿野妙子
山口秀則	松内正文	(の)	築地輝夫	佐伯信行	(か)	(い)
山口裕嘉	松尾定幸	野口勝郎	辻井寄子	佐賀昇(林博)	棧 行雄	井口洋子
山崎和子	松尾彦彦	野口文夫	辻村利子	坂本克代	楞野正憲	井崎雅大
山田 廣	松尾富男	野田大介	堤喜美江	坂本順一	鐘ヶ江明男	石崎克弘
山田征雄	松尾信夫	(は)	常行博信	坂本俊宜	兼原アツ子	石田安佐雄
山田良子	松尾 博	橋口茂弘	鶴田定司	相良広基	上峰町役場	石本博美
山野芳子	松尾弘之	橋間元徳	(て)	定松 武	嘉村秀吉	井手則男
山領耕造	松尾正則	八田信男	(と)	寺本真知子	加茂久美	稲富弘満
(よ)	松雪芳信	(ひ)	徳川政臣	(し)	佐藤智美	犬塚勝成
ヨコオフーズ	(み)	樋口東光	戸田幸枝	島 和男	川崎喜美江	井上伸二
吉岡英治	三ヶ島毅	樋口基子	富永吉信	島ノ江繁吉	河村喜美江	井上秀昭
吉岡信夫	三島孝之	樋口保成	秀島禎子	庄司正昭	(き)	井上由美子
吉岡 洋	水田紀昭	日野睦男	日野睦男	白浜史子	菊地義照	入江繁美
吉川律子	溝上文夫	平野つゆ子	平山敏之	城 利隆	岸川英司	岩尾磁器工業
吉崎たづ子	溝口光子	平山敏之	廣口征男	中島好昭	木須和子	(う)
吉田富子・英夫	三根角雄	廣口征男	(ふ)	中島則夫	木寺英夫	梅野勲夫
吉富壽泰	峰松和盛	宮寄俊郎	深川義隆	中島 浩	木原 悟	(え)
吉永奈保美	宮原 弘	三好常紀	深町佐代子	中島正治	(く)	江口幸文
吉村照治	三好常紀	(む)	福永弘之	中島 勝	空閑文彦	江里口義人
米村 誠	向 政文	(め)	藤澤ミツル	中野弘正	草場宣雄	遠藤孝良
(わ)	名門大洋フェリー	(も)	藤野千代麿	中野よしの	久保秀夫	(お)
若林 稔	毛利明彦	藤野千代麿	藤弥咲子	中橋一誠	黒川時彦	大木邦昭
和智ちさと	本村康夫	藤弥文枝	淵上シズヨ	中原 修	黒木賢一郎	大島ひでお
	森千代子	淵上シズヨ	古川邦敏	永松一敏	竹村 基	大塚辰美
	諸田謙次郎	古川ハツ子	古川ハツ子	永松真澄	田島美左枝	大坪勝行
		古崎良子	中山利則	中村 司	田代 清	大坪貞雄
				中村 稔	田中邦子	大手玲子
				中谷和子	田中澄子	岡山裕美
						岡本佐代子

株式会社 立石構造設計

株式会社 日本電機研究所  
代表取締役会長兼社長 福地裕文  
＜創業者 福地武史・大町町出身＞  
nildken 制御システムの専門メーカー  
551-0031 大阪市大正区泉尾7-1-1  
TEL06-6552-1471 / FAX06-6554-0847

OPEN JAPAN.  
TANTO  
Light you up DAIHATSU  
ひらけ。新時代アウトドア。  
TANTO FUN CROSS

Hisamitsu HELLO! ec!  
貼って、寝て、さもちい!  
サロンパス  
肩こり・腰痛・筋肉痛に  
【第3類医薬品】

# 関西支部総会を終えて

武陵会（武雄高校同窓会）関西支部

支部長 中村重人

コロナ禍で中止を余儀なくされていた関西支部総会を3年ぶりに開催しました。開催するにあたってはその当時、感染者が減少しているものの、終息の見通しが立たないなか、やめた方が安全・安心だとか、このまま今年もやめれば関西支部は消滅してしまうのではという危機感と、何とかして開催したいという強い気持ちとの葛藤でした。7月3日（日）の開催日から逆算して約40日前の5月24日、大阪府による行動制限で飲食は1テーブル4人まで、時間は2時間までという制限が解除されたことで免罪符を得たようなものでした。

開催してみれば、例年であれば100名程度の参加者に対し、今回の参加者は半分くらいの出席があればそれでもよしと思っていたのに、75名の参加を頂きました。開宴前から会場には校歌のBGMが流れ、いつもはあまり感じないのに、初めて耐えきれない熱いものがこみ上げてきました。支部総会ではいつも掲げている『武雄温泉楼門』と『御船山』を描いたタペストリーも定位置に掲げられ、また武雄市、嬉野市、有田町のそれぞれの観光ポスターが掲示されました。会場は例年と違って1テーブル5〜6人、アクリルの隔て板やテーブル間のアルコール類を持つての移動の制限等感染対策を取つての総会でしたが、3年ぶりの再会を喜び合う笑顔と会話に包まれて比較的静かな中にも安心感と満足感に満ち足りた至福の時間でした。開催して本当に良かった1日でした。



(三年ぶりに開催された総会風景)

乾杯!!



開催が中止になった年は過去にもあって、『武陵会関西支部の歩み』（平成25年発行）によると昭和36年発足以来40回目の開催に53年を要しています。平成7年に起きた阪神淡路大震災の前後10年間には1回しか開催されておらず、平成14年、6年振りに開催されています。この年に元兵庫県知事であった貝原俊氏（旧中2回卒）を支部長にお迎えしています。振り返ってみると開催はごく当然であると思っていたものの、大災害や感染症など様々な状況のなか中止の歴史を忘れることはできません。

これからも  
感謝の気持ちを大切に、  
皆様とともに  
歩んでまいります。

**全 Tamaya** SAGA

〒840-8580 佐賀市中の小路2-5 ☎(0952)24-1151

営業時間/午前10時〜午後6時30分

水とともに、人とともに。  
これからも「社会に必要とされ続ける」  
企業を目指してまいります。



株式会社 **ミソタ**

取締役社長 井田 建

本社/佐賀市伊勢町15番1号

TEL 0952-26-2551

大阪支店/淀川区西中島5丁目2-12-601

TEL 06-6886-2735

# ふるさとの近況ニュース (伊万里市)

## 「伊万里がんばろう応援団」創設

先月7月24日(日)夕刻より、伊万里市の深浦弘信市長と、総合政策部の東嶋陽一郎長、秘書課の川口吉野様を大阪市内に迎え標記の内容について説明と質疑応答を交え、伊万里市の更なる魅力アップを熱く語って頂きました。当方「関西伊万里もん会」からは、松尾正則顧問、丸尾会長、山田副会長、長尾幹事と事務局から本山が参加いたしました。

全体の経過説明は東嶋部長より、先月7月に出来立ての政策提言を資料に基づき1. 政策アドバイザーとは 2. その内容 3. スケジュールの流れ等、趣旨の説明がありました。深浦市長からは、より多くの政策提言を纏め、これまでに以上に市で適切なる予算等を組んで実現できることは目に見える形で取り組みたい。また多くの市民に更なる魅力アップ活動を実行してまいりたいと抱負を述べられた。

説明会終了後には、「関西伊万里もん会」としては、丸尾会長を政策アドバイザーとして、年2回開催の「政策会議」代表として参加してもらうことになりました。丸尾氏は日ごろから「関西伊万里もん会」の役員会やふれあい伊万里もん会でも故郷伊万里への思いは熱いものがあり適任であるとして参加者で推薦いたしました。第1回目の会合開催は8月19日、伊万里市内で開催と発表されました。

「伊万里がんばろう応援団」の創設と政策提言

様々な見識を持った伊万里にゆかりがある方に、伊万里市政策アドバイザーを委嘱するとともに、政策アドバイザーによる「伊万里がんばろう応援団」を創設し、新たな政策提言をいただき、市政運営の参考とする。

1 政策アドバイザーとは  
経済、情報、まちづくり、教育など、各分野で優れた専門性を有する有識者8名を政策アドバイザーとして委嘱し、市長の政策立案に関する提言をいただく。

2 内容  
政策アドバイザーを伊万里市内もしくは福岡市内等に招聘し、市の課題や政策等について説明し、意見交換や政策提言を行っていただく。伊万里市内で開催する際は、夢みさき公園や市民会館跡地などの現地視察をしていただく。

3 スケジュール  
年2回開催予定。第1回は7-8月頃伊万里市内で、2回目は福岡市内で開催予定。

【例えば...】  
夢みさき公園の活用検討

市長 課題説明 市民の発想を付加  
アドバイザー 意見交換・政策提言  
アドバイザー 魅力UP!  
新構想 新戦略 新事業 新施設

## 第1回伊万里がんばろう応援団会議 開催結果報告

第1回伊万里がんばろう応援団会議が8月19日(金)に伊万里市の大坪コミュニティセンターで開催されました。当日は午前9時から伊万里市の課題解決に向けた遊休財産(市民会館跡地、夢みさき公園等)又昨今の大型企業(SAMCO、名村造船等)の視察南波多地区の果樹園の現場視察を深浦市長自らのガイドで午前中を終わりました。

午後からは会場を大坪コミュニティセンターに移動し、市長を議長とした2時間半の熱いアドバイザー討論会が開催されました。我々の後部席には約40人の市役所職員が傍聴される緊張感のある会議であった。



(大阪市内でのミーティング風景)



# 「わが市ふるさと自慢」



皆さんにとって出身地の自慢は何でしょうか？

懐かしい場所、美味しい食物、歴史に残る遺跡、訪ねてみたい思い出の場所、でも以外と知らない“ふるさと”が多いことに気付くことはありませんか？

そんな“ふるさと”の“一コマ”を県人会のホームページで連載公開中です。その中から今回は、5つの市の“ふるさと自慢”をご紹介します。

## わが市ふるさと自慢（佐賀市）

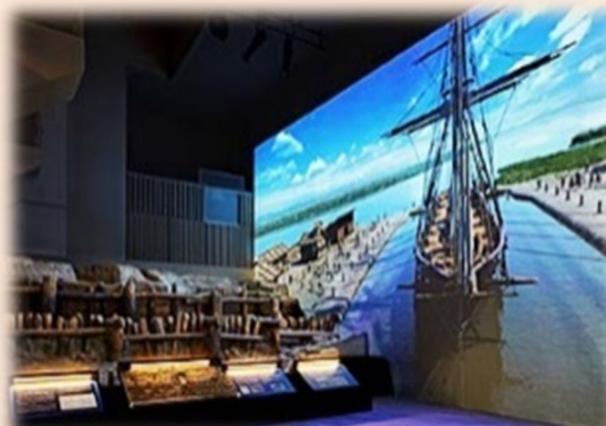
「関西佐賀県人会」の皆様、日頃より佐賀市へのご支援誠にありがとうございます。

幕末から明治維新期にかけて日本の近代化の礎を築いた佐賀藩。佐賀市には幕末維新期にまつわる史跡や施設が随所にあります。

今回は、昨年令和3年9月にリニューアルオープンした「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」をご紹介します。

日本赤十字社の父として知られ、また医師であった佐野常民は、30代の前半から45歳頃まで佐賀藩海軍の発展に足跡を残しています。歴史館に隣接している三重津海軍所跡は、2015年に『明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業』の構成遺産として世界遺産に登録されました。この史跡は幕末に佐賀藩が造った洋式海軍の拠点施設です。ここでは、佐賀藩が担当していた長崎警備を強化する為に、洋式の海軍士官を養成すると共にオランダから購入した蒸気軍艦の修理をしました。また国産初の実用蒸気船凌風丸の建造も行われました。現存する地下遺構のドライドック（乾船渠）は、西洋技術の導入だけではなく日本の在来技術を巧みに融合するなどして、試行錯誤の末に1861年までに造られています。館内のリニューアルでは、佐野常民の80年の感動の生涯を、迫力のパノラマ映像や長さ23mの年表で紹介。また、三重津海軍所の遺跡については象徴的遺構であるドライドックの木組み

遺構の一部を原寸大で再現、縦7m横17mの大型スクリーン、映像ホール等を新設して運用を説明し、当時の三重津海軍所の様子を体感できる、解りやすい施設として生まれ変わりました。



【所在地】	〒840-2202 佐賀市川副町大字早津江津 446-1
【開館時間】	9:00～17:00（最終入館 16:30）
【休館日】	月曜（休日の場合は翌平日） 年末年始、その他臨時休館日あり
【観覧料】	大人 500円・小中高生 200円・ 未就学児無料 （年間パスポート）大人 1,000円、 小中高生 400円
【TEL】	0952-34-9455
【HP】	佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館

## わが市ふるさと自慢（唐津市）

「関西佐賀県人会」の皆様、日頃より唐津市へのご支援誠にありがとうございます。

唐津市が誇る特産品には、皆様もご存じの、今が旬のハウスミカン（生産量日本一）や呼子のイカ（全国的にも有名なイカの活き造り）、唐津Qサバ（九州大学との共同研究で生まれた完全養殖のマサバ）、唐津焼（伝統工芸品）などがございますが、今回は、「北波多の梨」をご紹介します。

JAから管内で生産される「梨」の栽培地は、唐津市北波多志気（しげ）の山中に位置しています。

肥沃な土地、山からの天然水で育った梨は、風味豊かで、「幸水」「豊水」「新高」「愛宕」など、7月から12月まで切れ目なく、おいしい梨があります。

贈答用やお取り寄せなど、関西佐賀県人会の皆さまにもぜひ食べて頂きたい、唐津市自慢の一品です。



唐津市 経済部 からつブランド  
ふるさと寄附推進課 兼 唐津焼振興室  
〒847-8511 唐津市南城内1番1号  
大手口センタービル6階  
TEL:0955-72-9196 FAX:0955-72-9203

## わが市ふるさと自慢

### (多久市)

「関西佐賀県人会」の皆様、日頃より多久市へのご支援誠にありがとうございます。多久市は、佐賀県の中心に位置し、緑豊かな自然に囲まれたまちです。今回は、多久市西多久町に江戸時代から伝わる伝統野菜「女山大根」をご紹介します。令和四年六月二九日、佐賀県多久市西多久町内で栽培されている「女山大根（おんなやまだいこん）」が、農林水産物や食品を地域ブランドとして保護する国の地理的表示（GI）保護制度に登録されました。佐賀県内の農林水産物では初めての登録になります。

（登録番号 第一二二号）

（歴史と現在）

「女山大根」は、250年以上前から栽培されていたとされ、江戸時代の多久地域を記録した文献「丹邱邑誌（たんきゅうゆうし）」（1847年）に登場し、多久出身の儒学者草場佩川（くさばはいせん）は、詩や絵に好んで取り上げています。また、110年前に「女山大根」の品評会を実施していた記録が残っています。

「女山大根」は、大きすぎて市場の規格に合わず、市外に出回ることがなかったため、自家用としてわずかに栽培されるのみで、自家採種を繰り返していくうちに、ほかの大根と混ざり合い、在来種本来の色や形は次第に失われたこともあり、昭和初期にはミカン等への転換によって一時消滅しかけました。しかし、ほかでは見られない在来の珍しい大根を地域の特産品として見直す機運が高まり、昭和60年代から佐賀県佐城農業振興センターや多久市が一体となり産地復興に取り組み始め、地域にわずかに残っていた種子を、佐賀県

の農業試験研究センターに持ち込み、10年近くかけて交配、選抜を繰り返して本来の姿・形を復活させることに成功しました。平成七年にオーブンの地域農産物直売所の目玉産品として生産振興を図り、産地復興当時は2〜3名の生産者による1tにも満たない生産でしたが、令和2年は約30名の生産者が約10tを生産しています。



す。「女山大根」の出荷時期は、十二月中旬から二月下旬までです。「女山大根」は、アントシアニンを含む、美しい赤紫色をした赤首大根で、成長すると四キロ〜五キロになり大きいものは10キロを超えるが肉質は緻密で「す」が入りにくく、一般の青首大根に比べて糖度が高く、特徴的な色と煮崩れしにくい特徴から、煮物のほか汁物や和え物など料理の具材として珍重されています。特徴的な色と煮崩れしにくい特徴から、煮物のほか汁物や和え物など料理の具材として珍重されています。



## わが市ふるさと自慢

### (鳥栖市)

「関西佐賀県人会」の皆様、日頃より鳥栖市へのご支援誠にありがとうございます。

鳥栖市の面積は7,722平方キロメートルで、県内10市の中で最も面積の小さな市ですが、そんな鳥栖市内にも国史跡や県史跡に指定されている遺跡や古墳がいくつもあります。

その中で今回は「勝尾城筑紫氏遺跡（かつのおじょうちくししいせき）」をご紹介します。

「勝尾城筑紫氏遺跡」は鳥栖市の北西部の牛原町、山浦町、河内町にまたがる城山（じょうやま）山麓一帯に、戦国時代後期（約400〜500年前）に鳥栖地方を本拠として東肥前（佐賀県東部）や筑前、筑後にかけて勢力を奮った筑紫氏の勝尾城筑紫氏遺跡があります。

勝尾城を中心に麓の館跡をはじめ、谷をぐるりと取り囲むように鬼ヶ城（おにがじょう）、高取城（たかとりじょう）、葛籠城（つづらじょう）、鏡城（かがみじょう）、若山砦（わかやまとりで）の5つの支城、さらに館跡からはじまる谷間には家臣の屋敷跡、寺社跡、町屋跡や土塁、空堀等の城下跡が良好な状態で残されています。その規模は東西約2.5百、南北約2百に及びます。城下町の構造としては、河内川に沿って西側の谷奥から城主筑紫氏の館並びに重臣クラスの屋敷を中心とする領主支配の中核的な空間、二番目は高取城の北側で東西に流れる河内川を境に北に家臣屋敷と寺社、南には伝春門屋敷の空間、3番目は四阿屋神社と葛籠城及び付随する屋敷の空間、4番目が城下においてもっとも外側に位置し、主に町屋を中心とする空間で

構成されています。これらの城下空間に対し、谷を遮断するように4つの長大な堀と土塁が構築されることにより領域区分と城下防備を行っています。

全国的に、戦国時代の城下町のほとんどが現在、市街地になっていたり、開発等により改変されている中で、当時の姿を止めている勝尾城筑紫氏遺跡は戦国時代の城下町の姿を知る上で大変重要な遺跡との評価を受けています。鳥栖市ホームページに紹介動画を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



（問い合わせ）  
鳥栖市教育委員会事務局  
教育部  
生涯学習課 文化財係  
〒841-8511  
鳥栖市宿町 1118 番地  
TEL:0942-85-3695

**わが市ふるさと自慢(小城市)**

「関西さが県人会」の皆様、日頃から小城市への御支援誠にありがとうございます。当市が進める『スポーツ×天然温泉×メディアカル』を活かしたまちづくりの取り組みについて紹介いたします。

本市の保健福祉センター「アイル」(以下、アイル)は、平成15年に開館し、ジムや医務室等の保健福祉センターの機能だけでなく、ナトリウム炭酸水素塩泉の泉質(美肌効果・切り傷・神経痛・筋肉痛・疲労回復等の効能)の天然温泉や温水プールを有しています。アイルと隣接した総合公園、周辺にある医療機関、宿泊施設等を地域活性化のための重要な地域資源と捉え、健康を理念としスポーツ、医療、温泉を一体的に活用していく構想を立ち上げ、アイルに隣接する2面の人工芝サッカー場(令和5年3月完成予定)を整備することで、スポーツを核としながら既存施設であるアイルの活用を目指すことになりました。地域交流拠点として市民が活動・活用していく場となるような仕掛けづくりをしていくと同時に、隣接する牛津総合公園等の周辺施設と一体的な活用をすることで、競技者のもとより、子どもや若者、高齢者、ビジネスパーソンといった幅広い層を対象としたスポーツを通じた健康増進・心身形成・病氣予防の取り組みを推進していき、誰もがスポーツを楽しむながら健康づくりができる

る笑顔にあふれたまちづくりを目指しています。

**佐賀県小城市 (おぎし)**

地域資源磨きによる健康の拠点づくり

**(仮称) 小城フットボールセンター整備プロジェクト**

小城市では、天然温泉やプール、ジムなどが備わる牛津保健福祉センター「アイル」と大型船の形をした巨大複合遊具やジョギングロードなどが備わる「牛津総合公園」の隣接地に、人工芝のサッカー場などを設置し、「(仮称)小城フットボールセンター」として整備を進めています。

長さ105m、幅68mの人工芝のサッカー場2面、115台駐車できる駐車場、トイレ、ミーティングルーム、審判室などを整備予定です。2023年3月完成を目指しています。

**プロジェクトのポイント**

- 1.市民が運動やスポーツに親しみ健康づくりの拠点を整備
- 2.周辺施設を一体的に活用し交流人口の増加

スポーツによる交流人口の拡大、健康の拠点づくり、魅力あるまちづくりに積極的に取り組めるようご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

【連絡先】小城市役所 総合戦略課  
電話番号: 0952-37-6199 メールアドレス: furusato-ogi@city.ogi.lg.jp



(仮称) 小城フットボールセンター完成予想図

**古賀税理士事務所**

所長 古賀 幹雄  
(佐賀市出身)

530-0012 大阪市北区芝田 2-2-13  
日生ビル東館 405号

TEL 06-6377-5091 FAX 06-6377-5093

**佐賀県農業協同組合**

ふるさと 佐賀 とつながりませんか?  
サガテレビローカル番組を  
ネット配信中!

さばびり

〒840-0803 佐賀県佐賀市栄町3-32  
TEL:0952-25-5176  
FAX:0952-26-8264

ふるさと 佐賀 とつながりませんか?  
サガテレビローカル番組を  
ネット配信中!

**saga+plus**

サガプラス SAGATV

**社労士法人 中村事務所**

貴方の企業を繁栄させるサポート法人  
企業に合った就業規則作成・給与計算サポート  
働き方改革によるサポート・人事労務に関する相談・指導

社会保険労務士 中村 昭彦  
(佐賀市出身)

550-0014 大阪市西区北堀江 1-22-20 2F  
TEL 06-6531-5411 FAX 06-6531-5476  
URL <http://www.nakamura-sr.com>

**ケアポート晴寿**

- ・特別養護老人ホーム
- ・ショートステイ
- ・ホームヘルプ
- ・アクティブデイ
- ・有料老人ホーム
- ・デイサービス
- ・ケアマネジメント
- ・小規模多機能ホーム

〒849-0916 佐賀市高木瀬町東高木 1170  
TEL 0952-30-1165

理事長 寺田 洋臣

**香蘭社**

代表取締役社長 深川 祐次

〒550-0013 大阪市西区新町 1-2-13 新町ビル 2F  
TEL.06-6578-1721 TEL.06-6578-1717



有功会員 吉村照治

## はじめに

本書は、第一～五章で構成され、A5版・260頁の手頃な書物である。地元佐賀新聞社から発刊。著者川副義敦氏の郷里、佐賀県や今は他府県に住むOBの方々であれば、一度手に取り一読されたら大変参考になる歴史書と思いません。エピソードと意外性に富む新たな発見があります。

## 1. 主人公 山口尚芳の誕生と経歴

山口は天保10（1839）年、佐賀県武雄市花島に生まれた。幼名は範蔵。幼少より学問に優れ、15歳の時、武雄領主 鍋島茂義の命を受け、長崎で蘭学を学んだ。後に長崎奉行所内に設置された英語伝習所「清美館」で、米国人教師フルベッキのもと英語を習得。上京して岩倉具視と交わり、王政復興後、外国事務方御用掛かりとなり、明治新政府の要職を務めた。

明治4年、33歳の折、外務少輔・従四位に叙せられ、岩倉具視（47歳）を全権大使とする米欧使節団副使に任じられた。同行の副使には外に大久保利通（42歳）、木戸孝允（39歳）、伊藤博文（39歳）の三人が任命されている。使節団の目的は、①条約締結各国への国書の奉呈 ②条約改正の予備交渉 ③近代的制度・文物の視察にあった。総勢107名、2年近くにわたり米欧12カ国を回覧した。

●最初の訪問地、アメリカのサンフランシスコで撮影された使節団5名の写真は余りにも有名である。

●山口の政府高官としての主な経歴は次の通り。

①米欧使節団副使 ②初代会計検査院長 ③元老院議員・貴族院議員 ④高等法院裁判官などを歴任。明治27年56歳で死去している。

## 2. 著者が語る本書作成の動機

（一）明治4年、米欧使節団の副使として参加し活躍した山口。外の三名の副使に比して殆んど歴史的偉人として紹介をカットされたり、忘れられてしまったたりしていることは残念である。彼の事績を明らかにしたいとの強い思

いがあった。また、昨年令和三年は使節団が横浜を出発して丁度150年の節目に当たっていた。日本の近代化を語る上で、先述の一行の一枚の写真は様々な歴史書に紹介されているが、解説の多くが「右から大久保利通、伊藤博文、岩倉具視、一人おいて木戸孝允」と告げている。山口尚芳だけが省略されて歴史的事実が伝えられていないことは確かである。

（二）明治7年の「武雄と佐賀の乱」の研究は、これまで『佐賀史』（石井良一著）で語られた以外には、殆んど触れられることがなかった。本書第四章に「佐賀の乱と山口尚芳」の記事がある。山口の長崎上陸、武雄隊の転向、謝罪文作成、処分と行賞のくだりは、後世まで佐賀の多くの人々に怨情を残す結果となったことは否めない。

新政府の官軍二百人が長崎に上陸。二月下旬、西側から佐賀の乱軍を攻めている。山口外務少輔率いる武雄隊は、この時、二代領主鍋島茂昌の了解を得て、転向する形で海兵隊に従軍。この真相の扉が次第に開かれようとしていることは驚きである。小城藩も同様の行動をとったと言われている。

佐賀軍鎮定に乗り込んだ山口。内務卿大久保との親密度はいか程だったのか。米欧使節団の旅程で長い間、共に時間を有した二人。「佐賀の乱」の折り、博多まで軍艦で同行していた。

### 3. 久米邦武と『米欧回覧実記』

岩倉使節団の公式記録『特命全權大使米欧回覧実記』を書き上げてのは、佐賀出身の久米邦武である。久米は天保10（1839）年、佐賀城下八幡小路で生まれた。奇しくも山口と同じ年齢。彼は、幕府の昌平坂学問所で学び、帰国後は弘道館の教授となり、藩主直正の近侍を務めた。明治4年、政府の権少外史に任じられ、岩倉使節団の大使随行を命じられた。久米は修学時代、漢学の世界に生きてきた。使節団参加の理由は、岩倉が今回の洋行には、和漢の学識者を随行させたいという希望があったからである。明治11（1878）年10月、全百巻、五編・五冊本の『米欧回覧実記』が刊行された人々の関心を呼び、当時のベストセラーに相当。久米が傾けた情熱と執筆・編集の業績は高く評価されている。

### おわりに

平成13年、武雄市図書館・歴史資料館主催で、今回の歴史書発刊の著者川副氏を中心となって、特別企画「海に火輪を、山口尚芳の米欧回覧」展が開かれた。その折り、A4版、六十三頁の美しい小冊子が配布されている。この年は岩倉使節団130年の節目。近代日本の船出にふさわしい蒸気船アメリカ号を描いた表紙。力強い文字の揮毫は米倉基峰氏によるもの。今回出版の装丁も同じ絵柄で魅力的に仕上がっています。「歴史に知恵を、先人に英知を学ぶ」心で、人生を着実に前進して行きたいと願っています。



## 肥前の炭鉱王『高取伊好』



武雄市  
(旧北方町) 出身  
本村康夫

**はじめに**  
佐賀の七賢人は余りにも有名だが、「肥前の炭鉱王」と呼ばれた高取伊好も、我々佐賀県人にとって、決して忘れることのできない人物である。

### ① 生い立ち

伊好は嘉永三年十二月、佐賀藩多久領の儒家鶴田斌（ひとし）の三男として生まれ、八歳の時に姉の嫁ぎ先である高取家の養子となる。五歳で「東原痒舎」（とうげんしょうしゃ）に学び、多久乾一郎（多久家の世継）の御学友に選ばれた伊好は、佐賀藩校「弘道館」で乾一郎と共に国学と漢文を学んだ。

明治三年、乾一郎が「昌平黌」への入寮に同行し上京、既に東京で法律を学んでいた長兄の鶴田皓（あきら）のもとに住み、英語塾「三又塾」に入塾し、英語を学んだ。塾生の中に、後に海軍大将・元帥となる東郷平八郎がいた。その後、「慶応義塾」へ移った。

### ② 時代背景

国力の強化を急いだ明治政府は、英国人ゴッドフレを招いて、明治五年官費学校「鉱山寮」を開いていた。鉱山寮は講師の全てが外国人で、講義は全て英語で行なわれた。伊好はここで鉱山学を二年間学んだ後

に、「工部省」に採用され、「高島炭鉱」に技師として赴任した高島炭鉱では、技術の責任者として生産を指導しただけでなく、経営にも関与し、後藤象二郎、岩崎弥太郎、大隈重信等と知り合った。高島炭鉱は日本最初の炭鉱とされる。島の人々は昔から「燃える石」を生活に使っていたが、近代産業としての炭鉱は、長崎に住んでいた英国商人グラバーの活動によって幕を開けた。十九世紀の中ごろには、日本にも欧米各国の汽船が多数入港するようになり、燃料としての石炭が有望な商品になってきた。グラバーは、長崎港を監督していた佐賀藩の鍋島直正に炭鉱の開設を意図する。新しもの好きの直正は、事業化を決定する。安政六年、直正は高島炭鉱を佐賀藩の直轄として、松林源蔵を藩主代理として派遣した。

採掘の技術面を任せられたグラバーは、鉱山技師モリスなど多くの外国人を招いて近代的な鉱山を建設した。

### ③ 高島炭鉱との出会い

伊好が弘道館で学んでいた明治二年、乾一郎が長崎の医師マンスデルの診察を受けることになったので伊好は同行し、運命的な体験をする。長崎港沖に高島という小島があり、外国の最新技術を取り入れて、我が国最初の近代的炭鉱が稼働していた。佐賀藩主の代理としてこれを経営管理していた松林源蔵に案内され、高島炭鉱を見学した。

蒸気船、採炭機械、揚水ポンプ、昇降機（エレベーター）等々、初めて眼にする近代設備に乾一郎と伊好は驚嘆し、圧倒される。この経験が伊好の将来に大きな影響を与えた。

グラバーには投機的な動きもあり、このままでは高島炭鉱は外国人政商たちの手に渡りそうになったので、政府は明治六年十一月、急遽法律を作りこれを買取った。翌年一月伊好は官営炭鉱初代技師として高島炭鉱に派遣された。

### ④ 高島炭鉱時代

炭鉱所有者となった政府は、政治活動資金を欲していた後藤象二郎に売却した。後藤は、もともと炭鉱経営には熱心でなく、東京に居を構えていたこともあって、経営と技術面の指揮監督は十一歳年下の伊好に頼ることになった。

高島炭鉱の経営は困難を極め、明治九年の大火災、明治十一年には坑道の壁が破れて海水が浸水し、二十余名の命が失われる大事故が起きた。この二度にわたる壊滅的な事故にも拘わらず高島炭鉱は復活し、明治十三年には一日一五〇〇トンの産炭量を記録するに至った。この復活を指導した伊好の名声は高まった。

しかし、後藤は結局、土佐藩士仲間の三菱財閥創始者である岩崎弥太郎に高島炭鉱を売却した。この七年間に、伊好は炭鉱経営に必要な、ありとあらゆる経験を積み、人脈と名声も獲得した。岩崎弥太郎、川田小一郎（後の日銀総裁）、荏田平五郎等三菱幹部の誘いによってしばらくは「三菱高島炭鉱」の発足に尽力した。翌明治十五年、三十二歳の伊好は退職し、独立した事業家として、故郷佐賀における炭鉱経営に乗り出そうとしていた。

### ⑤ 苦難の時代

故郷に帰った伊好は、唐津南部地方に広がる、「御用山」と呼ばれる幕府の直営炭鉱に注目する。明治十八年、後藤象二郎の片腕、竹内綱を社長とし、伊好が技師長を務める「芳ノ谷炭鉱会社」を発足させ、明治二十五年、民営化に成功した。伊好は唐津への進出の傍ら、自らの故郷多久から敵木地区にかけて広がる「柚ノ木原炭鉱」の再建を手掛けたが成功せず、明治三十二年、伊好は筑豊の貝島財閥へ売却した。

芳ノ谷炭鉱から南に数キロメートルの所に、「相知炭鉱」がある。地表近くに炭層があるので、伊好は、この深層に試掘を繰り返し、地下七十メートルの場所に厚さ一メートルの良炭層を発見した。

明治三十二年、大阪・神戸の資本家を口説いて、資本金十二万円の「相知炭鉱株式会社」を設立した。しかしながら、明治三十三年、三十四年の恐慌で、資金難に苦しむ伊好に対して、三菱合資会社唐津支店は圧力をかけ続けていた。明治三十三年、伊好はついに有望と確信していた相知炭鉱を「涙を呑んで」三菱財閥に売却したのである。

「三菱相知炭鉱」はその後、従業員五千人を超える大鉱山へと成長した。

### ⑥ 花開く杵島炭鉱時代

売却で得た資金に更に新たな借金を重ねて、杵島郡北方町、大町町の一部に広がる炭田の開発に乗り出す明治三十四年に赤坂口、福母という古い小鉱を横尾家から買い取って試掘を繰り返し、非常に豊富な炭層の存在する兆候をつかんだ。この地は有明海に近く、六角川の水運によって住之江港に至り、輸送面でも唐津に劣らない。

かくて明治三十八年、伊好は大勝負に出る。彼の関わった中でも特に成績の良かった唐津の芳ノ谷炭鉱の全ての権利を竹内綱に譲り、その資金を杵島地方の炭鉱開発に注ぎ込む。明治四十二年には杵島地方のほぼ全ての炭鉱が伊好の所有するところとなった。高島炭鉱に始まる伊好の鉱山技術者・経営者としての経歴と知識が生かされ、「杵島炭鉱」は飛躍的な発展を遂げ、大正六年の生産量はついに六十万トンを超えた。

従業者も五千人を超える大炭鉱となった。特にその炭質は九州炭の白眉とされ、上海、東京等では、『キシマコール』が汽船用石炭の標準品とされた。

悪戦苦闘の連続であった伊好の石炭事業はここに花開き、「肥前の炭鉱王」と呼ばれる勝利者となった。日露戦争後の好景気という幸運にも恵まれたが、そこに至る経過を見れば、文字通り不撓不屈の精神と粘りによって克ち得た成功と言えるだろう。

伊好は、石炭の積出港となった住之江港の港湾整備にも力を注いだ。大正八年には、国の特別輸出港に指定された。こうして、杵島炭鉱は佐賀県南部の社会経済を大きく変えていった。

杵島炭鉱で巨万の富を生み出した伊好は大正八年、全ての経営を長男の九郎に譲り七十歳で引退した。引退後は、唐津の高取邸で漢詩の詩作に励み、書や能を楽しんだ、昭和二年惜しまれつつこの世を去った。伊好は石炭事業の成功者であったが、その社会貢献の大きさにも注目される。明治三十四年、辰野金吾の設計により唐津小学校が建設されたが、伊好



高取 伊好  
—石炭産業の先駆者—  
1850~1927

はその建設費を寄付した。まだ借金に苦しんでいた時代である。この時から昭和二年までの二十七年間、伊好は郷土の社会教育事業に対して倦まずたゆまず寄付を続けた。佐賀県内十五の小学校に二十七回の寄付をし、実にその総額は二百二十六万八千九百三十三円に上っている。“故郷に貢献するために”炭鉱事業家となった伊好らしい行為である。生まれ故郷の多久にも、橋を架け、水道を引くなど、数々の貢献をした。中でも、大正十一年、村営図書館、公会堂と公園を寄付した。敷地と建設費の総額七万七千八百円の巨額である。当時の多久村の年間予算は老万円ほどであった。レング造りの図書館は今も郷土資料館として健在である。

一万八千平方メートルにも及ぶ広大な敷地は、伊好の雅号をとって「成鶏公園」と名付けられ、今なお市民に親しまれている。明治三十年代、杵島炭鉱の経営が軌道に乗り出した頃、伊好は唐津城の西の浜に本邸を建設した。

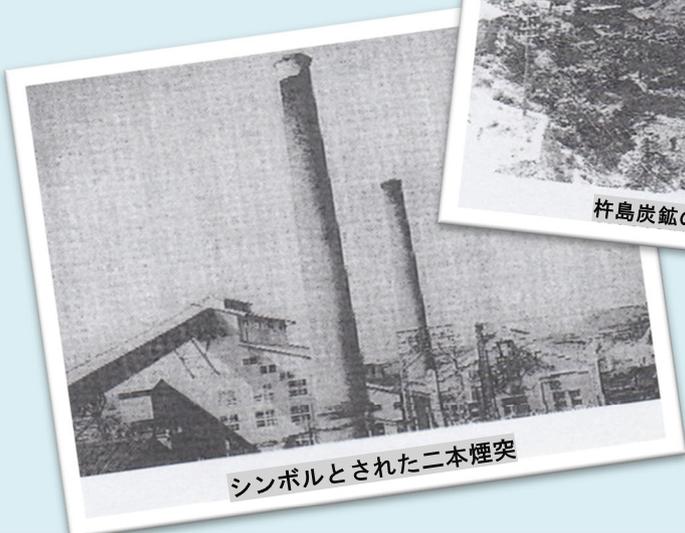
近年の研究により、この高取邸は、辰野金吾の作ではないかといわれており、その後、大掛かりな復旧工事を経て国の重要文化財に指定されてい

る。現在はテレビでも紹介され、伊好の遺族によりホームページでも見ることが出来る。また一般公開されており、一度は訪れ、伊好の辿った人生に浸ってみたい。

参考文献『去華就実』と郷土の先覚者たち



杵島炭鉱のシンボル 旧ボタ山



シンボルとされた二本煙突

# 2022年第104回夏の全国高等学校野球選手権大会

有田工業高校野球部の初戦突破を祈願して関西佐賀県人会から激励金が送られました

去る8月12日(金)、2022年第104回夏の全国高等学校野球選手権大会で春夏連続の名誉ある出場を果たした有田工業高校の山崎哲也校長先生、佐賀県高野連から松尾真也理事長様、深町俊善会長様、馬場健太事務局長様の4名が試合前日のタイトなスケジュールの中、佐賀県関西・中京事務所へご挨拶に来所されました。



県事務所で行われた激励会では、吉原修所長と村山毅課長に出席頂き関西佐賀県人会を代表して八田会長、棧副会長、丸尾副会長並びに中村副会長らが同席のもと、八田会長より松尾真也理事長へコロナ感染にも負けず甲子園での初戦突破を目指す有田工業野球部の必勝祈願の気持ちを込めて激励金が渡され、試合当日には関西に住む佐賀県出身者が初戦突破を期して応援団を結集して声援を送るので頑張つて欲しいと激励の言葉を送りました。

記：広報部会 丸尾

## ～有田工業高校一粘りの野球で初戦突破を狙うも惜しくも敗退！～

有田工業は県大会の決勝で神埼清明に勝利し、夏の出場は9年ぶり2回目。初出場だった今春の選抜に続き2季連続の甲子園出場となった。8月13日甲子園大会8日目の第1試合に佐賀県代表・有田工高(対) 島根県代表・浜田高が行われた。

一時は野球部員のコロナ感染によって出場の危機も報道されたが、高野連の英断で行動待機を考慮され、8日目の組み合わせで出場が可能となった。学校側も全国の有田工高応援者も胸を撫で降ろした。そんな経緯を経て、選手も応援団も試合が始まる前から意気さかん、一塁側のアルプススタンドは赤の応援シャツが眩いばかりでした。

試合は一回表に1点が入り、このまま地方戦で見せたチーム打率3割越えが爆発すれば、楽に勝てるかもと期待したが、相手の浜田高は3回に反撃開始、ヒット2本と足で塁を進め、そこに悪送球が重なり2点を献上、その後、有田工は5回表、四球と一打ヒットで1点を返し同点となり振出しにして俄然面白くなったが、6回裏に4本のヒットで3点を取られ、又差が3点となった。そこは、佐賀県大会で見せた粘りの野球で7回表に1点を返し2点差に迫った。残りの2回を粘りで返してくれるのを願ってプラスチックバンドと共に懸命の声援を送ったが2点差のまま5対3の惜敗となった。しかし、部員たち36名の顔は甲子園で野球ができたことの喜びで晴ればれとし、来年も更に力をつけて戻ってきたいと燃えていた。

記：広報部会 本山



おすすぬ!

## 「写真で見る懐かしのふるさと」

現在、関西佐賀県人会のホームページでは、ふるさと佐賀県の10市10町の名所旧跡や特産物、美しい風景等の写真をトップページでスライドショーとして展開中です。まだ、展開途中ですが、佐賀県人会の皆さんのふるさとの写真も随時公開する予定ですので、是非、当県人会のホームページをご覧くださいと思います。今回は公開中の写真から数点をご紹介します。～「関西佐賀県人会」で検索して頂くとご覧いただけます。



(有田町提供)



(玄海町提供)



(基山町提供)



(白石町提供)



(神埼町提供)



(鳥栖市提供)



(佐賀市提供)



(鹿島市提供)

### 編集後記



写真：左から於保・本山・丸尾・宮城・蒲原

(会報誌編集委員)

コロナ禍も3年目に入り県人会の行事の多くが中止を余儀なくされる中で、会報誌編集は情報収集に苦労しましたが、有難いことに会員やふるさと佐賀県からの貴重な情報提供を頂き何とか15号を発行出来ました。情報をお寄せ頂いた皆様に心よりお礼申し上げます。

そして、今回から心強い若手編集委員が2名加わりました。新体制の編集委員会で合議の結果、今号からデザインを一新することとし、記事内容も出来るだけ多くの会員の方々に投稿頂くと共に、ふるさと情報をより積極的に掲載することで、「関西佐賀県人会」と「佐賀県」との架け橋になるような会報誌を目指すことになりました。今後も皆様方に興味をもってご覧頂ける会報誌「集まろう佐賀んもん」を目指していきたいと思っておりますので、ご支援よろしくお願致します。



御船山  
(武雄市提供)

ゆつつらくん  
(嬉野市提供)



常在 お客様貢献



松尾建設株式会社

代表取締役社長 松尾 哲吾  
大阪支店長 井田 了

本店 〒840-8666 佐賀市多布施一丁目4番27号  
TEL (0952) 24-1181 FAX (0952) 23-4211  
大阪支店 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目9番1号 新大阪花村ビル4階  
TEL (06) 6838-4457 FAX (06) 6885-2771  
URL <http://www.matsuo.gr.jp>

For the Tasty Century  
**Miyajima**



**宮島醤油株式会社**

本社 佐賀県唐津市船宮町 2318 番地 TEL 0955-73-2151  
 大阪出張所 大阪府吹田市広芝町 8 番 12 号 TEL 06-6319-9836  
 第 3 マイナビビル 504 号



毎日御利用いただき、  
ありがとうございます。

LPガス・ガス器具・住設機器・配管設備

**(有) さかもと商店**

(連絡先) 佐賀市若楠 1 丁目 5 - 11  
 ☎ (0952) 30-6806(代) FAX 30-6853

代表取締役 坂本民雄

磁器の総合オートクチュールメーカー

**岩尾磁器工業株式会社**

(佐賀県有田町)

代表取締役社長 岩尾慶一  
 大阪営業所 所長 越智正司

530-0044 大阪市北区東天満 1-7-17 東天満ビル10階  
 TEL 06-6353-6174 FAX 06-6354-0670

技術と誠意で躍進する

**株式会社 大洋建設**

代表取締役 糸山博幸

〒840-0027 佐賀市本庄町大字本庄 253-12  
 TEL 095224-8251/FAX 0952-23-1721

**MABEC**  
株式会社 マベック

国スポに向けた  
SAGAサンライズ  
パークの運営に  
参加しております

株式会社マベック  
〒849-0924 佐賀市新中町11番18号  
TEL 0952-32-1855 FAX 0952-32-2792  
HP <http://www.mabec.jp/>



爽やかに  
朗らかに  
凛として

理事長  
篠塚周城

学校法人 佐賀龍谷学園

## 集まろう！佐賀んもん 「関西佐賀県人会」

事務局 大阪市北区梅田 1 丁目 3 番 1 - 900 大阪駅前第一ビル 9 F  
 佐賀県関西・中京事務所内

TEL 06-6136-7850 / FAX(06)6136-7940

事務局長：中島和秀（嬉野市出身）

編集責任者：丸尾繁治（伊万里市出身）

編集担当：於保博幸（唐津市出身）・本山幸一（伊万里市出身）・

宮城孝弘（鳥栖市出身）・蒲原 勉（佐賀市出身）



関西佐賀県人会ホームページは

<https://kansai-saganmon.sakura.ne.jp/>

(連絡先)：

大阪市北区梅田 1-3-1-900 大阪駅前第一ビル 9F 佐賀県関西・中京事務所内

TEL：06-6136-7850 Mail：kanri@kansai-saganmon.sakura.ne.jp

関西佐賀県人会



Click

